

Cherry

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA010012/>

(Windows Vista の方はこちらから Cherry 1.5.3 (alpha)をダウンロードしてください。)

なお、このソフトウェアは*フリーウェアとなっております。

*フリーウェアとは

- ・ 対価として金銭を支払う事なしに使用可能なアプリケーションソフト。
- ・ 作者は無償でこれを提供する代わりに、不具合の修正や使用法の解説といったユーザーサポート、そして開発の継続などの義務は負わない。
- ・ 著作権は、例外を除く殆どの場合、作者（一次配布者）にある。

つまり、無償でソフトウェアを使用できますが、使用に関して全て自己責任です。問題が起きたときの対処等全て自分で行う必要があります。(使用される環境によっては動かない場合もあります。)

このことを念頭において使用してください。

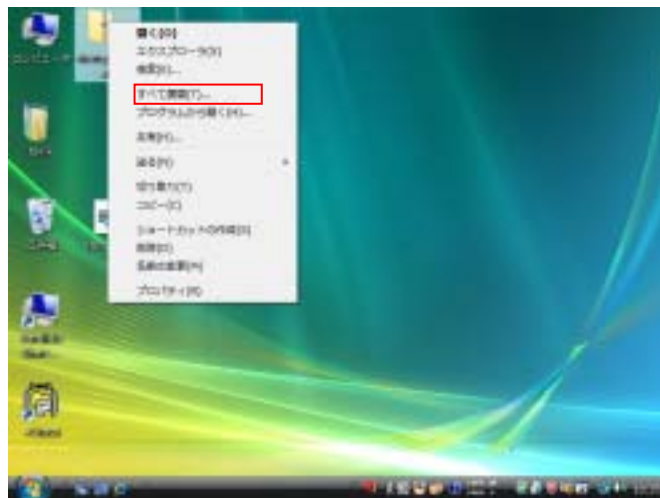
このソフトウェアを使用することによって発生したいかなる問題も当校では責任を負いません。

インストール方法

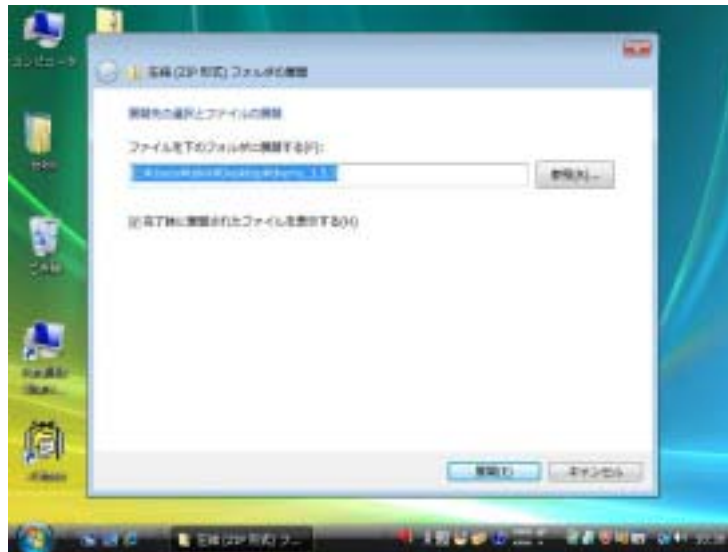
上記ホームページから `cherry_1.5.3.zip` をダウンロードします。

(デスクトップに保存すると分かりやすいです。)

アイコンの上で右クリック->「すべて展開」をクリック



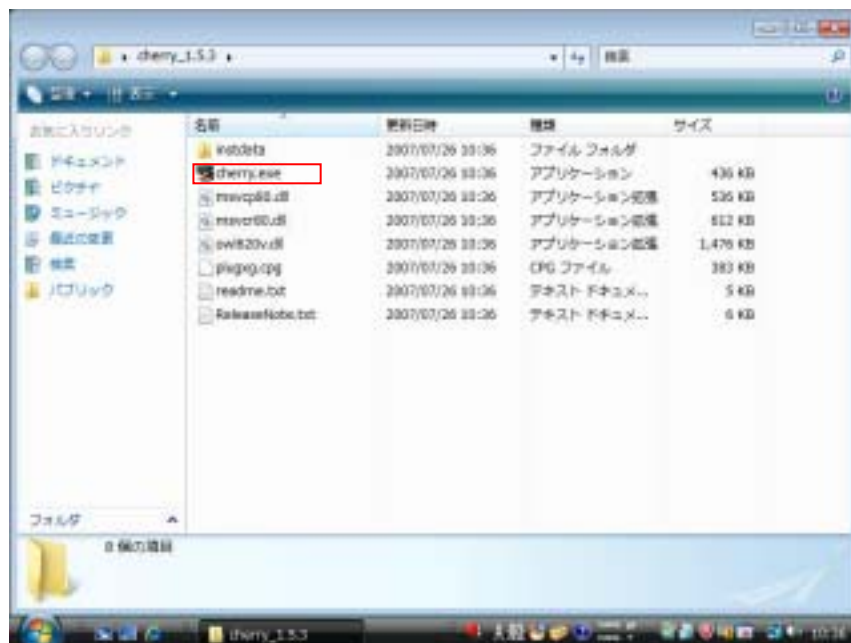
展開先の選択とファイルの展開 ->展開ボタンを押す。

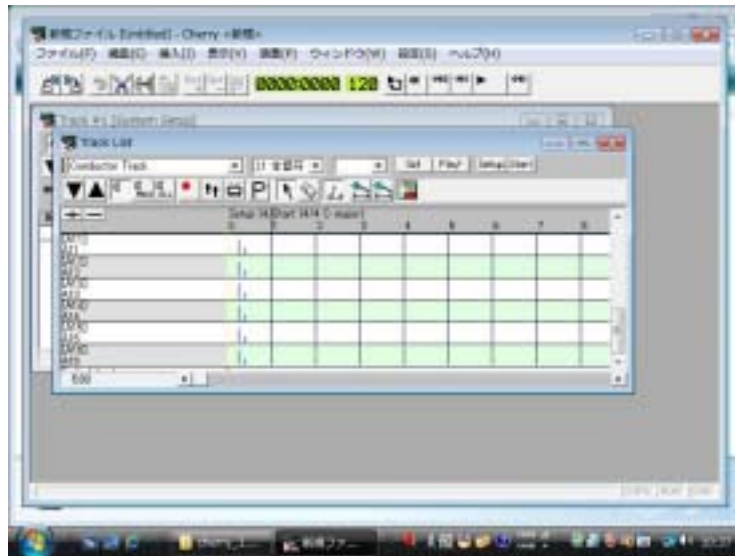


完了です。

デスクトップに cherry_1.5.3 というフォルダが作成されているかと思えます。

このフォルダの中の cherry.exe というファイルがプログラムになります。ダブルクリックするとプログラムが開きます。





[環境設定]

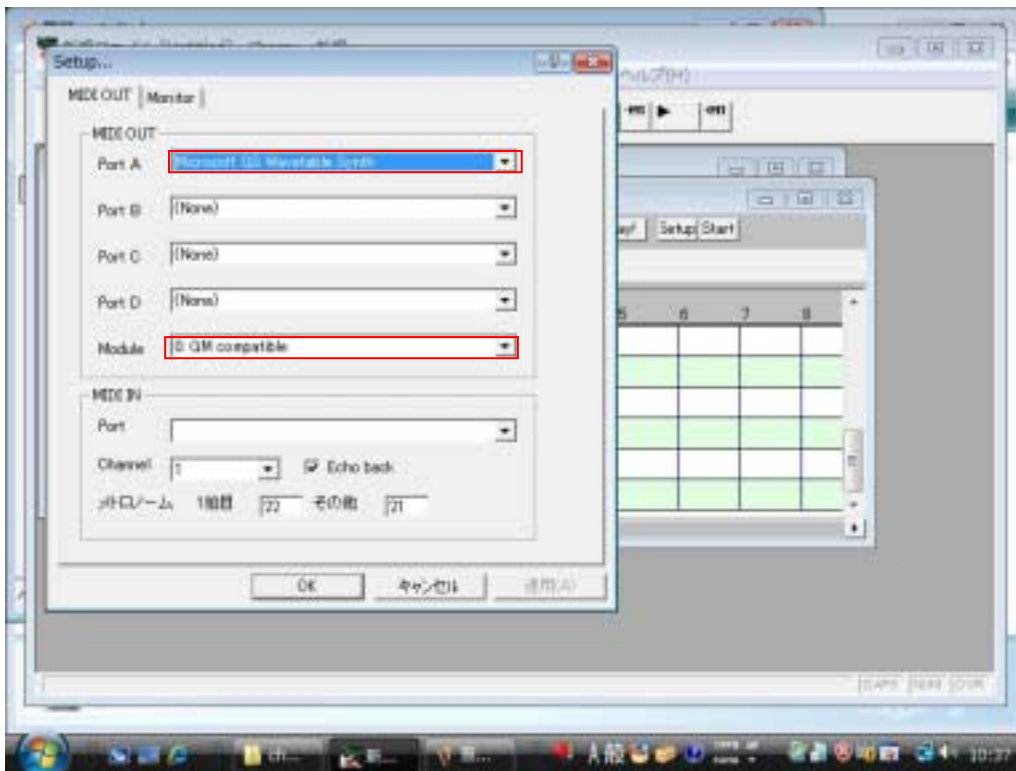
入力を始める前に環境設定を行ってください。

ウインドウの[設定]メニューから環境設定を選択します。

こちらの[MIDI OUT]タブ->[MIDI OUT]の PortA の項目を Microsoft GS Wavetable Synth に

Module の項目を 0:GM compatible に変更してください。

これで、課題提出データを作るための設定は完了です。



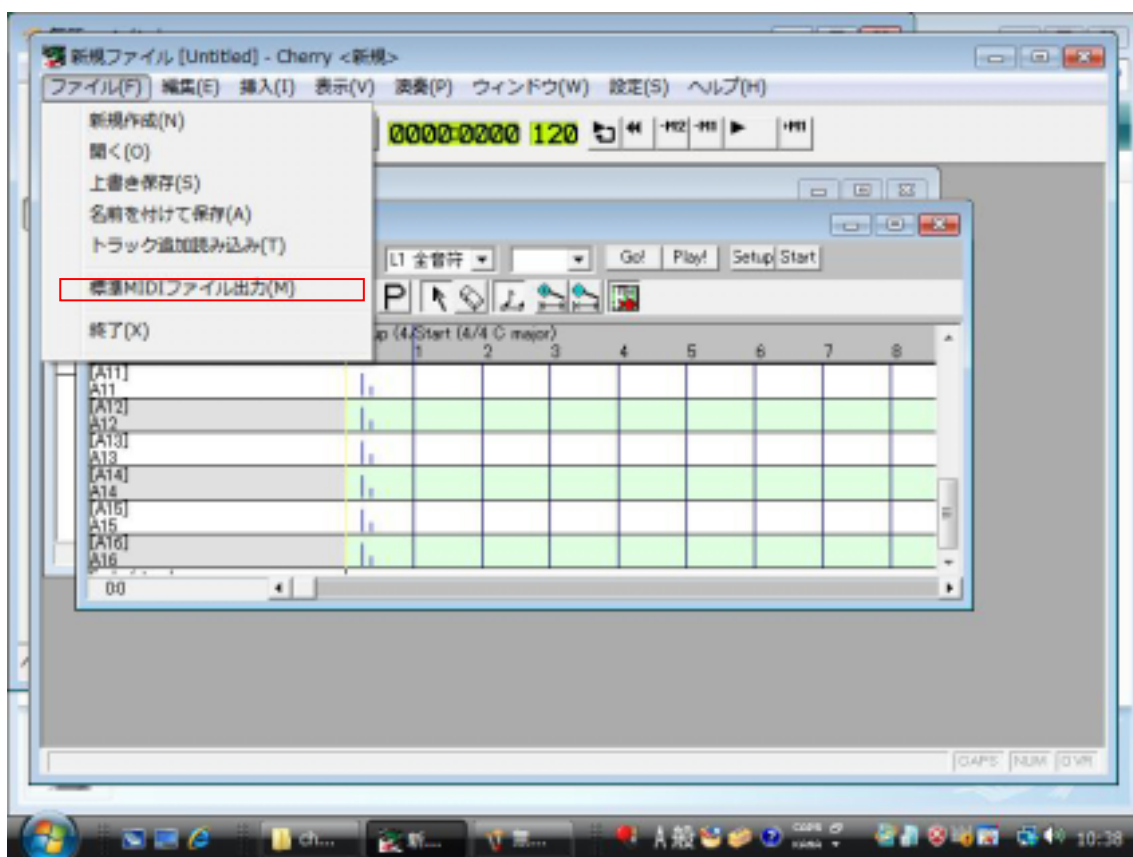
[提出ファイルの作成方法]

提出は midi ファイルで行うこととなっておりますので、通常の保存とは別に提出用のファイルを作る必要が

あります。これは以下の方法で行います。

作成した楽曲を開いた状態で

[ファイル]->[標準 MIDI ファイル出力]を選択し、保存場所を指定し名前をつけて保存します。



この作成されたファイルを提出してください。

[その他操作方法について]

このソフトを使う上で MIDI に関する知識は不可欠です。これらは Web 教材や取り上げられている参考文献で各自学習を行ってください。

Cherry の操作方法については、Cherry の配布ページからたどることができるページを御覧ください。